

NHK放送センター建替工事に関する専門家委員会での結論について

1. 発注手法

(1) 発注・契約方式

放送センターの建替工事については、長期間に及ぶ工事であり将来の放送サービス量や技術革新に柔軟に対応するため、また業者の経営悪化など不測の事態を回避するために二期以上に分けて発注することにしました。

※ 契約方式については、次の視点を重視し、共同企業体でも施工会社単独でも参加が可能となる『設計・施工一括発注方式』としました。

- 高度な技術力・ノウハウ等の採用(現在地整備)
- 工期短縮の可能性

※ 本方式を採用するにあたり、別途発注者業務支援方式を導入します。
また、工事の監理については第三者に委託します。

(2) 落札者の決定

コストを重視しながら施工業者の持つ独自の技術やノウハウを工事に反映させるべく『総合評価落札方式』を採用し、高度な技術や優れた工夫を含む提案を入札参加者に求め、入札価格と技術提案を総合的に評価したうえで落札者を決定します。

2. 事業の全体スケジュール

今年8月に公表した建設基本計画をもとに、工事の発注手続きを行い、2025年度の完成を目指します。

